

春日原地区自治会 平和講演会

「禎子(さだこ)が生きた壮絶な人生」から学んだ
「想いやり」の心と人権の意味

講師 佐々木 雅弘 さん

特定非営利活動法人 SADA KO LEGACY 理事長
広島平和記念公園にある『原爆の子の像』のモデル
佐々木禎子さんの実兄。禎子、母、祖母とともに被爆。
禎子の折鶴の寄贈や学校教育現場での講演活動など
を通じて、「まわりを思いやる心」の大切さを伝える活動
を続けている。

日時 2025年7月19日(土)

受付 12時30分～

講演 13時30分～16時

会場 春日市立 春日原小学校 ゆめホール

料金 無料 講演後に 本のサイン会、禎子さんの折り鶴複製品の販売あり
(数に限りがあります)
YouTube(ユーチューブ)で配信予定



申込方法 6月16日(月)より、春日原公民館あてに、電話、Eメール、
公民館窓口、はがき などにより、先着順に200人まで受け付けます。

申し込みには、氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号が必要です。

後日、入場整理券をはがきにて通知します。

なお、200人に満たない場合は、直接会場でも受け付けます。

【申し込み・問い合わせ先】 春日原地区自治会(春日原公民館)

〒816-0803 福岡県春日市春日原南町4丁目37-84

TEL & FAX 092-591-6000 Eメール kasugaba@aioros.ocn.ne.jp

【平和講演会】「禎子(さだこ)が生きた壮絶な人生」から学んだ「想いやり」の心と人権の意味

佐々木 雅弘（ささき まさひろ）さん
NPO法人 SADAKO LEGACY 理事長



プロフィール

◆経歴

1941年7月24日広島市生まれ。

1945年8月6日爆心地より1.6キロ地点広島市楠木町にて被爆。

原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子さんと雅弘さん、母、祖母と共に4人が被爆。父は翌日入市して被爆。

原爆の惨劇を知る最後の年代である。

アメリカ・シアトルのピース・パークに設置された「平和のシンボル」佐々木禎子さん

※ 佐々木禎子(さだこ)さん[雅弘さんの2歳下の妹]

1943年1月7日生まれ

1955年2月21日 亜急性リンパ性白血病の為、原爆病院へ入院。

1955年10月25日 佐々木禎子さん、広島日赤病院で原爆の影響による白血病のため死亡。

当日、両親は後世の為に親戚の反対を押し切り、禎子さんの病理解剖を受け入れる。

そしてその結果、新たに甲状腺がんが見つかる。

1958年5月 国内外の募金により「原爆の子の像」除幕される。

～近年の活動～

2001年7月～10月、広島平和記念資料館が主催した「サダコと折り鶴」展にて、第一回「禎子物語」を朗読講演する。

2009年10月、オーストリア・ウィーン他、各所で講演を行い、ブルゲンラント州「ヨーロッパ平和博物館」に禎子の遺品の「折り鶴」を寄贈。

2012年8月、原爆投下命令を下した、故・第33代アメリカ大統領トルーマン氏の孫にあたる、クリフ・トン・トルーマン・ダニエル氏を広島、長崎に招き、慰霊式典に出席。

2013年8月、ロサンゼルス「サダコ・ピース・イベント」がJACCC(日米文化会館)主催で開催され、講演。

2015年11月、ニューオーリンズで全米中等教育の社会科・歴史の教職員らが集まる教育学会において、キーノート・スピーカーとして招かれ講演。また、地域の奉仕活動等をボランティアで行なう民間の人々をたたえるための賞である「Sprit of America」賞を受賞。

2023年5月、禎子さんによって平和の象徴となった折り鶴は、G7 広島サミットにてその複製品が各国の首脳に渡された。

その他年間を通して、国内外の各地の学校や、公共機関、諸団体の招きで「想いやり」の心の大切さや、命の尊厳を知り、今生きていることに感謝できる心がけを伝える講演活動を数多く手掛けています。

最大の人権抑圧である戦争や紛争や暴力について、そのことを始める理由や正義など、鼓舞してもらえないし、あおってもならないと言う心を培うための心のあり方について、子供達が教育で自分自身が学べる環境を世界につなげたいと思っています。

2025年2月、佐々木 雅弘氏が父の仏壇から新たに禎子さんの折り鶴が見つかり、元アメリカ大統領のオバマさんにその折り鶴を手渡した。オバマさんは折り鶴を手世界平和のために尽くしたい、とのこと。

